

そらんぽへ行こう

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

特別展「^{にゃんにゃん}猫猫はくぶつかん」を 開催します

博物館の4階特別展示室では、9月19日(土)から京都市にある「招喜^{きょうき}猫宗^{ねこ}総本山^{にゃんにゃん}猫猫寺」の協力のもと、特別展「猫猫はくぶつかん」を開催します。

猫猫寺は、「猫」を本尊とした世界初の寺院型テーマパークで、歴史的遺物や名画を猫に置き換えたユーモアあふれるパロディー作品を展示しています。本展では、猫猫寺による作品を楽しみながら、作品のキャプションでその元となった作品についても知ることができます。

また、四日市市が誇る文化財などのパロディー作品も展示し、本市の歴史に親しみを感



「ツタンニャーメンのマスク」



「青いターバンの猫」

じていただくことができます。猫猫寺が贈るパロディー作品を堪能しながら、さらなる学びを得られる展示をお楽しみください。

関連行事として、9月19日(土)にはオープニングセレモニーを行い、先着30人に特製缶バッジをプレゼントします。また、10月17日(土)には猫猫寺代表によるギャラリートークが、10月18日(日)には「蚊やり猫を作ってみよう」(参加費500円、要申し込み)を行います。申し込み方法など詳しくは、博物館ホームページをご確認ください。



文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

鳥出神社の建築

富田にある鳥出神社の社名は、伊勢国で亡くなった日本武尊が、白鳥に姿を変えてこの地で休憩し、熱田の方角へ向かったという伝説に由来します。

平成28(2016)年にユネスコ無形文化遺産に登録された、「鳥出神社の鯨船行事」としてご存じの人が多いと思いますが、その建築に注目したことはあるでしょうか。本殿は、大規模な三間社神明造であり、日本の神社建築の中でも格式の高い様式です。注目すべきは、昭和4(1929)年の式年遷宮の際に払い下げられた、伊勢神宮の別宮、月読宮の社



鳥出神社本殿 (鳥出神社提供)

殿を拝領したものが使用されていることです。社伝によると、鳥出神社における神宮の用材の再利用は、天正13(1585)年以来とされています。

鯨船行事で知られ、古くから地域の中心の神社として信仰を集めている鳥出神社。その建築からも、神宮とのつながりや信仰の重みを感じられます。

11月に開催予定の富田・富洲原を巡るウォーキングイベントでも鳥出神社を訪れる予定です。ぜひ建物にもご注目ください。